

岡山県+SAFE 協議会（小売業）を開催しました

令和4年10月19日（水）に「岡山地方合同庁舎3階会議室」において開催
○岡山県+SAFE 協議会（小売業）の設置・活動について

岡山労働局では、増加傾向にある小売業の労働災害防止への取組みとして令和4年度から岡山県+SAFE 協議会（小売業）（協議会と言う）を設置して、県内リーディングカンパニー、岡山県所管部署、業界関係者^()の協力のもと好事例の発信、労働災害防止の啓発資料作成方針などを協議しています。

株式会社天満屋ストア、株式会社ハローズ、イオンモール株式会社、岡山県産業労働部労働雇用政策課、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、一般社団法人岡山県労働基準協会



○議事、好事例発表、意見交換

- (1) (株)天満屋ストア好事例：スイングドアの安全対策
- (2) (株)ハローズ好事例：切創災害防止対策
- (3) 小売業における労働災害防止啓発資料作成方針について
- (4) 今後の協議会として取組む活動内容について

○労働災害の現状（コロナ除く）

令和3年の県内労働災害で小売業は10%を占めている。小売業の労働災害で多いのは「転倒」や腰痛等「動作の反動、無理な動作」で併せて51%を占めている。

○労働災害防止の取組みと問題点

増加傾向の小売業の労働災害の背景に労働者の体力低下による問題があるとなれば、労働者の体力作りに事業者が取組む必要がある。

今回の協議会を成功させる秘訣は、ここで共有された好事例の取組みをいかに小売事業者に広げてもらうことができるかにかかっている。

また、今回好事例を発表いただいて、職場で話し合っ出来上がった成功例を一つ作るだけでも巡り巡って良い結果につながっていくことが感じられた。

就業機会の増大という観点から、小売業が高年齢労働者の方にも安全に就業してもらえるよう職場であることを知ってもらうとともに、協議会の活動を横展開してゆきたい。



挨拶する子安労働基準部長

○岡山労働局労働基準部長からのメッセージ

小売業は製造業や建設業などと違って、危なくないという認識が広がっていますが、災害を詳細にみていると、転倒で長期休業に至ったり、スーパーマーケットではミキサーに巻き込まれたりなど重篤な災害に至ったケースもあり、長期休業が人材不足に拍車をかけております。

岡山労働局としても、これまで小売業の個々の事業場に対し、事業場臨検や集団指導を通じて指導してまいりましたが、小売業の労働災害を減少させるには至りませんでした。

そこで、令和4年度からは新たに、小売事業者や関係団体も交えて業界全体で労働災害防止に取り組むことといたしました。協議会で労災防止に向けて少しでもできることを考えてゆきたいのでご協力お願いいたします。